

各保育・教育施設設置者 様  
施設長・園長 様

横浜市こども青少年局  
保育・教育運営課長

児童の午睡中の安全管理の徹底について（依頼）

日頃より、横浜市の保育・教育行政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

令和 5 年 3 月 19 日、宮崎県宮崎市の保育施設において、1 歳未満の乳児がうつ伏せの状態で見つかり、搬送先の病院で死亡する事故が発生しました。

午睡中の死亡事故は、過去の保育施設で起きた死亡事故で一番多く報告されており、午睡中の異常は、「いつ」、「どこで」、「誰に」起こるかわかりません。

園内で基本知識を周知・徹底し、事故予防の意識を高め、事故のリスクを下げ、早く異常に気付くための行動がとれるようにしましょう。

今一度、児童の午睡中の安全管理の徹底について、下記「事故を防ぐためのポイント」および添付資料の「チラシ ブレスチェックのポイント」を活用して、各園で研修や職員会議を行い、再確認をお願いします。

【事故を防ぐためのポイント】

仰向けに寝かせる。

児童の午睡中は、時間の長さや時間帯、センサーの使用に関わらず、必ずブレスチェックを行い一人ひとり記録する【0 歳児は 5 分に 1 回、1 歳児は 10 分に 1 回】

十分な観察ができる明るさの確保

顔面および唇の色の確認

鼻や口の空気の流れや音の確認

呼吸に伴う胸郭の動きの確認

体に触れて体温確認

・窒息予防のために寝具や周辺環境について以下の点を毎日チェックします。

布団はアイロン台くらいの硬さのものが望ましい。

シーツはしわがないか常に点検する。

授乳後、ゲップを十分に出してから寝かせる。

午睡時に着衣の襟や袖口で口を塞がないように留意する。

顔のまわりやベッドの柵にタオルなどを置いたりかけたりしない。

毛布や布団などのかけものは、顔にかからないように胸までとする。

飲み込む危険のある遊具を手の届くところに置いたままにしない。

※職員会議などにより、全職員への周知を図ってください。

担当 保育・教育運営課 運営・指導係  
村田・田崎・泊ヶ山

電話 045-671-3564